

## 令和元年度第2回学校運営協議会議事録

令和元年11月25日

協議委員 久保田 豊司 西村 和彦 広部 潤一 鈴木 世志子

### 1. 授業見学

6限目の授業3クラスを見学

### 2. 校長挨拶

- ・来年度の募集クラス数が7クラスに決定
- ・部活動がそれぞれに成果を上げている
- ・施設の改修工事を徐々に進めていく予定

### 3. 進路指導部から現状報告

就職希望者は全員内定。大学公募推薦入試で苦戦している。

### 4. 学校経営計画の進捗状況を報告

### 5. 協議

授業見学について

- ・生徒は落ち着いている。先生の「語りかける」口調や、生徒同士が語り合う場面が用意されているなど、対話的な学習形態がとられている。新学習指導要領に向けてすべての教員で共有すべきことだと思う。
- ・アクティブラーニングにこうしなければならないというルールはない。
- ・授業見学は他校との交流も必要

学校経営計画進捗状況をうけて

- ・部活動も授業も「チーム枚方津田」で取り組むべき
- ・英語教育において英語で語り合える「場所」「場面」「時間」を設定してインタラクティブにモチベーションをあげていく。
- ・正課と課外活動をどう評価するかが大学でも課題となっている。学校の取り組みの成果を受験結果で見るのか、人間力で見るのか考える必要がある。
- ・探究学習がそういった意味で最適な学習だと思われる。取り組みは must ではなく will want で行うことが重要。
- ・インクルーシブ教育にも目を向ける必要がある。
- ・広報活動が学校を活性化する。先生たちの活気、在校生のモチベーションアップにも繋がる。
- ・生徒の挨拶が気持ちいい。CM 会議など地域や外部に宣伝する材料はたくさんある。
- ・リアルタイムで生徒目線での発信が大切。
- ・Open campus に先生も出向いて情報を仕入れることが大事である。
- ・目に見えない障がいについて、互いに認め合う気持ちが大切である。